

新大祭常任委員会の方々をはじめ、
様々な団体の協力のもとで開催。
多様さが、ひとつになる魅力を感じた。



見えなかったものが見えてきた。 多様な世界での姿勢。

関係づくりの作法
新潟大学では、どんな作法が
自発していくのだろうか。

新潟大学黎明祭
42回目を迎えた黎明祭。
6月3日開催。

新潟大学学友会黎明祭実行委員長
近藤 至

新潟大学黎明祭は、今年で42回目を迎えました。今でこそ黎明祭のすべてを熟知していますが、いきなり実行委員長に担ぎ上げられた当初は「黎明祭って何?」と思っていました。実際、黎明祭は一般にはあまり知られていません。ですから、偶然とはいえ実行委員長に任命されたからには、今年の黎明祭は学生の目を向けさせるようなものにしよう、という目標で企画してきました。

実際に動いてみると、様々な問題に足踏みを余儀なくされました。学友会委員は、各部活の代表であり、もちろん部活を兼ね

ています。各個人のスケジュールの合間をぬってでは、話合の時間もあまりなく、委員同士の意志疎通もうまくいきませんでした。また、運営に関するノウハウの全てが、着実に引き継がれることなく回を重ねてきたということも悩みの種でした。結局、自分たちがほぼ一から始めなくてはならない、そんな切迫した状況でした。

それでも例年以上の黎明祭にできたのは、様々な団体の協力があったからです。主に

協力して頂いたのは新大祭常任委員会の方々でした。新大祭を見ての通り、彼らは学園祭のプロフェッショナルです。立て看板の基礎を貸して頂いたり、ステージの組立をして頂いたりと様々な面でお世話になりました。手伝って頂いている時に差し入れをするなど、団体としての姿勢もここで学びました。

新潟大学には様々な分野で活躍している組織が数多くあります。そういった組織が団結し協力することが、新潟大学を動かす原動力の一つなのだと思えました。最後に、実行委員会を始めとして、参加して下さった全ての方々から感謝したいと思います。皆さんのおかげで成功させることができました。本当にありがとうございました。

大学は社会に求められている人材を育てる場所。

だからカリキュラムがあり、そして勉強には無駄はない。

学長との対談を通して 黎明祭で学長と学生との 対談を学友会が企画する。

新潟大学学友会総務部委員長

須佐 信之

学長から「学生と話す機会が欲しい」との申し出があり今年も黎明祭で対談を企画しました。学生にとって学長というのは遠い存在であり会う機会はおろか話す機会などほとんどありません。それでこの企画は大学に対しての疑問、意見などを話し合ういい機会になると思いました。当日の人の集まりは予想よりもずっと少ないものになったのでこのままでは意見もろくに出不ず失敗するのではと不安でしたが、対談が始まると質問、意見は途切れることなく出てきてほっとしました。

意見は「老朽化している施設・設備を充実して欲しい」から「授業の欠席等、学生のモラル低下をどう思うか？」まで幅広く出ましたが、中でも私は「自分は高専で専門的な勉強をしてきたのに大学に来てまた同じようなことをやらされているし、カリキュラムが組まれていて自分のしたい研究ができない」と言ったことに対する学長の答が印象に残りました。「自分のしたいことをやるのであれば専門

来年も企画して欲しい、学長との対談 見えにくい大学を身近にするためにも。

学校もある。大学というのは社会に求められている人材を育てるという性格も持っているのでカリキュラムがあるのは当然である（わかりやすく言うと医学部は医者育てるためのカリキュラムが組まれる）。同じ事を勉強するといっても勉強に無駄はない」との答だったのですが、私はそこで大学というものの性質を再認識しました。

今年はあれだけの小人数しか集らなかったにもかかわらず熱気溢れる対談となりました。これでもっと人数が集ればとても有意義になると思います。できれば来年もこの企画を実行してもらい交流の場を作っていたなら見えにくい「大学」というものが身近になるかもしれないと思いました。



農村問題研究部

未来づくりという

遊び場をつくる

農村問題研究部は、新しくできた学友会正式クラブです。ほぼ固定したクラブで推移しており、新しいクラブが生まれるのはまれなことです。

この農村問題研究部は、別名、新潟大学無差別エンターテイメント集団『めしにすんべ』といわれ、実はこっちの方がほんとの名称です。めしにすんべ農園を市内平島に持ち、農園を中心に交流の場をつくっています。また、こどもたちとの交流を進める寺子屋（農園付属平島校、松浜校）を開催するなど、その多様さは農村問題だけにおさまりきれません。

「未来づくりという遊びをしよう」そう叫ぶ『めしにすんべ』の活動は、『月刊がむしやら』で詳しく知ることができます。かなり、おもしろい内容です。一度ご覧下さい。



編集：がむしやら団
(090-2417-6918、笠原)